

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業  
 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築プログラム  
 拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・強化委託業務 委託業務概要

業務実施研究機関

東京大学

業務実施研究所等

社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター SSJデータアーカイブ

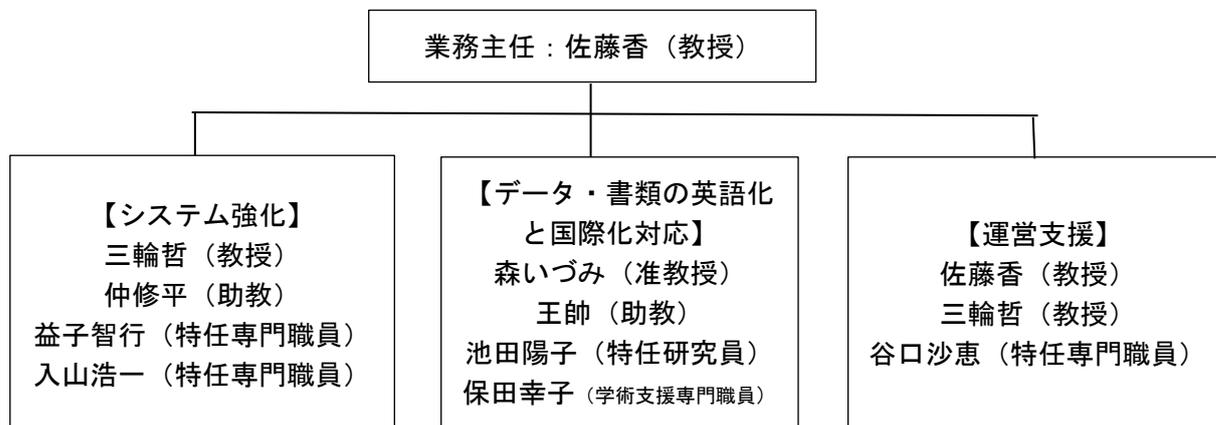
業務主任者氏名・役職

佐藤 香・教授

委託業務実施期間

平成30年10月16日～2021年3月31日

業務実施体制図、説明文（概要）



本事業を遂行するにあたり、上記の実施体制を組む。社会調査・データアーカイブ研究センターの運営委員長である佐藤香教授が業務主任となり、全体統括の役割を担う。本事業のために雇用した特任研究員／特任専門職員が実質的な業務の主な担い手となるが、彼女・彼らの指揮監督をおこなうために、また事業の企画や運営をおこなうために、同センターの常勤スタッフがかかわる構造となっている。

なお、システム強化の一環として、セルフ・アーカイブ・システムの開発があるが、その際には同センターの社会調査研究分野のスタッフと連携する。また、メタデータの英語化やデータ変換にかんしてはデータアーカイブ室スタッフと、国際シンポジウム開催にかんしては同センターの国際調査研究分野のスタッフとそれぞれ連携する。

配分（予定）額

（単位：千円）

平成30年度	平成31年度 (2019年度)	2020年度
32,500	32,500	32,500

※平成31年度（2019年度）・2020年度については予定額

## 業務の目的・意義、拠点機関としての役割

人文学・社会科学データインフラ構築プログラムは、人文学・社会科学研究に係るデータを分野や国を超えて共有・利活用する総合的なシステムを構築することを目的としていることから、国立大学法人東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターは日本学術振興会と一体となって本目的の達成に向けて取り組む。

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターのデータアーカイブ SSJDA は、本事業を通じて、システムの強化・改善、英語化への対応、セキュリティの充実化をはかる。その結果、国際的に認められうる信頼できる社会科学データアーカイブとしての地位へと、日本で初めて到達することを目的・意義とする。

SSJDA の国際化、およびオープンサイエンス時代に対応したシステム整備により、日本の人文学・社会科学研究に貢献することを目指す。それは本プログラムでは、日本の人文学・社会科学での研究データ共有における中核的事業たる、研究データの蓄積および公開を支える基盤構築を担うものとなる。

## 業務計画の概要

本委託業務にて扱うデータは、社会科学全般にわたる社会調査の個票データとそれに伴うメタデータである。新たに取り組むのは、①利用者および寄託者管理システムの強化、②セルフ・アーカイブ・システムの導入、③リモート集計システムの強化、④メタデータの再整備、⑤国際認証をめざしたポリシーとシステムの整備、の5点である。